

いらんちゃフェスタ2015in丹後（続報3）



米軍基地いらない京都府民の会・奥村一彦 弁護士

島津での住民意向調査について、市長は人権侵害と。しかも憲法違反だと。みなさん、米軍が憲法守っていますか？ 憲法を破壊する存在です。米軍が憲法を守るべきだと市長は言うべきです。日米地位協定は米軍に特権的な地位を与えています。あらゆる日本の法律をまぬがれる立場。酒場で暴力ふるわれても、ほとんどが泣き寝入りというのが沖縄での実態。地位協定はイタリアでは、イタリア軍が管理し出入り自由。ドイツも統一後ドイツが管理するようになった。日本だけが米軍基地の中はアメリカ軍という状態。政府は何もしない。国民が変えていかなくてはならない。

米軍Xバンドレーダー基地反対近畿連絡会・ 大湾宗則さん

基地のない京都をということのでがんばってきた。きょうも穴文殊に出かけた。基地を視察し、正面で抗議行動をし、ここに参加しました。現地ですべての闘争の経験から引き出されている。私たちは、沖縄でのたたかひの教訓を学ばないといけない。先祖からの土地や自然をつぶしてはならない。子どもや孫に渡すことが大切と。戸別訪問での話は、ほんとにしんどい。「うちはもう子どもが外に出たまま帰ってこない。残すものはない」と。守るものが出てこない。レーダーが置かれて、軍事的緊張を起している。東アジアを平和の海にするために、絶対撤去せなあかん。

フォーラム平和・関西ブロック 事務局長・池本昌弘

レーダーの即時停止を求めて申し入れをしてきた。府に出そうとしたが、ドクターヘリの問題があるので、関西広域連合にまずふられ、大阪へ。ここでは、医療は徳島だと、徳島にふられた。しかし、今度は、対応は豊岡だと兵庫にふられ、最後に京都府にもどってきた。権力をたてにした政府の思いだけが先行している。米軍基地を許さないたたかひを強めたい。

網野町島津在住・長砂文夫さん メッセージ

今年の3月2日、網野町島津地区の住民を対象に第1回目の居住地問題の説明会があり、防衛局と宅建業者から「軍属専用の住宅施設を作る」ことについて、初めて詳しい施設の説明がありました。まさかわが町内に米軍関係者の集合住宅が出来るなど、まったく思いもしていませんでした。説明会といいながら、内容はほぼ「通告」を受けたようなもので、寝耳に水の住民にとっては、ショックを通り越して、あっけにとられたような気分でした。今更ながらですが、宇川の皆さんの気持ちが今は痛いほどわかります。

説明会では100名以上の住民が参加し、批判の声が相次ぎましたが、翌月の定例記者会見で、中山市長が「居住地については民衆の契約なので、住民合意は必要ない」

【裏に続く】

10月31日、京丹后市網野町アミティ丹後で「いらんちゃフェスタ2015in丹後」での発言（要旨）を掲載します。なお、集会の最後に米軍基地建設反対丹後連絡会近江裕之事務局長が行動提起。息の長いたたかひをする上での「京都米軍基地いらない基金」への協力、沖縄に連帯するとりくみをしていくこと、集会後のピースウォークについて訴えました。

発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称：米軍基地いらない京都府民の会）連絡先：京都市中京区生仙念町30-2 フォール京都5階 京都総評内 京都共同センター 気付 電話075-801-2308 fax075-812-4149
過去のニュースはURL：<http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html> で見ることができます。

丹後町宇川在住・坂本芳雄さん



みなさんのご参加に元宇川の連合区長としてお礼を言います。先ほど永井さんの方から事故に関しての報告がありました。事故というのは2月19日、直進車に右折車の米軍が衝突。ぼくたちは「にしがき」（スーパーのこと。事故が起きた場所）にいましたので、すぐに区長さんとか連絡しました。人身事故なのでほっとけないと。すぐに基地対策室に苦情を入れた。とりあえず今から会ってくれと。あなた方は絶対に事故は起こさないという約束で基地をつくり始めた。とにかくオルブライト司令官を出してくれと。直接談判させてくれと。宇川の連合区長だけでなく、丹後町の区長連合会の会長もやっていて、市全体の幹事長も

（1面より）と発言したことは耳を疑いました。2年前の9月19日、「住民の安心安全が確保できなければ撤退もありえる」と言いながら、基地建設を受け入れた言葉は、やはり方便だったということです。6月2日の2回目の住民説明会では「売買契約も賃貸借契約も終わり、工事が始まるから、要望をとりまとめた」という連合区長の提案に、「民意を問え」の声が相次ぎ、急きょ、「住民意向調査」に取り組むことになりました。2週間足らずの間に300名ほどの調査票が集まりましたが、6月26日の定例記者会見で中山市長が「意向調査の結果を発表することはモラル的に問題があり、公表されてはならない」と発言し、そのことに反応した連合区長は「住民が割れる」と、こともあろうに調査結果を公表しないという行動に出ました。区長会、その後の代議員会いずれも紛糾したようですが、納得がいかない友人と私が議事録を請求しましたが、それも存在しないということで却下されました。先の国会では、国民の民主主義を平気で踏みじめる政治が、あからさまな形で行われましたが、まさにそれと同じことがわが町で起こっています。

沖縄をはじめ、全国各地で基地被害にあわれ、苦しんでいる方々や、不安に思われている住民の方と同じく、ここで始まることを本当に実感します。

今、急ピッチで住宅の工事が進められていますが、生活する範囲が完全に重なった時に地域がどんな状態になるのか見当もつきませんし、女性や子どもたちのことを考えると、怒りと不安だらけです。住民としてしっかり監視して行きたいと思っています。

していました。そういう関係で押しが利くのか。それから26日に会いましょうということになりました。3名の区長が行きました。オルブライト司令官、通訳と防衛省が出てきました。とりあえず事故の被害者に謝りに、司令官が直接行ってほしいと言いました。司令官はちゃんと謝ってくれて、その後、謝罪にも行ってもらったみたいです。事故の方はそれで終わったのですが、「安心安全連絡会」（米軍、防衛省、府、市などで構成）というのがあるのですが、その委員もやってまして、去年の12月の会議で、オルブライト氏と榎賀氏（防衛省幹部）に、とにかく、事件、事故、特に婦人、子どもに対する事件、車での事故、これだけは、絶対に許すことはできないとこんこんと言いました。榎賀氏は「わかりました」「私が責任をもって事故はないようにします」と言った。この人身事故後、もう一度防衛省と話がありまして、榎賀氏はどう責任取るのかとおもったら、東京の方へ（転勤で）行ってしまっていた。

基地そのものははっきり言ってないほうがいい。反対なんです。個人としては今現在を考えると、事故ですね、迷彩の大型自動車、トラック、ここ3日間ほどに10台ずつぐらい入ってきています。あのせまいところを、大きな車が入ってきている。連続でつながって入ってくるので、ほんとに危ないです。きょうはありがとうございました。